

平成 28 年度（平成 27 年度事業対象）

宍粟市教育委員会
点検・評価報告書

平成 28 年 10 月

宍粟市教育委員会

目 次

■教育委員会評価の概要

1. 趣旨	1
2. 評価実施内容	1
3. 平成 28 年度評価内容	1
4. 有識者の選任	1
5. 平成 28 年度 点検評価 有識者等名簿	2

■教育委員会の活動状況

1. 教育委員の構成	3
2. 教育委員会の組織	3
3. 教育委員会の開催状況	4
4. 教育委員会の審議状況	4
5. 教育委員会委員の活動状況	10

■教育委員会施策の点検・評価

点検・評価結果

平成 28 年度（27 年度事業対象）宍粟市教育委員会事務事業評価シート

就学前教育・保育	11
学校教育	15
社会教育	24

■教育委員会評価の概要

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会自らが毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられ、宍粟市教育委員会においても平成 20 年度（19 年度実施事業）から政策効果をしっかりと把握した上で、必要性や効率性等の観点から教育委員会事務事業の点検・評価を行っています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 評価実施内容

宍粟市教育方針である『宍粟の教育』に基づき、担当部署での成果や課題整理・検証による自己評価（第 1 次評価）を行った後、点検及び評価にかかる有識者の意見、提案等による第 2 次評価をいただき、次年度に向けた事務事業の改善に役立てます。

3. 平成 28 年度評価内容

平成 28 年度の評価内容は、平成 27 年度『宍粟の教育』基本目標に沿って 45 項目について点検し、評価を行います。

4. 有識者の選任

就学前教育・保育、学校教育、社会教育に関し学識経験を有する者や保護者代表等を選任し、有識者や外部からの視点で評価していただきます。

5. 平成 28 年度点検評価有識者等名簿

※敬称略

No	分野	主な役職等	氏名
1	就学前教育・保育 社会教育	元幼稚園長・元保育所長 社会教育委員	大前 千里
2	就学前教育・保育	保育協会宍粟支部代表 (くりのみ保育園園長)	川本 鈴子
3	就学前教育・保育	就学前児童保護者代表 (西播磨幼稚園連絡協議会 市代表役員神戸幼稚園PTA会長)	波多野 好則
4	学校教育 社会教育	市連合PTA会長 (波賀小学校PTA会長)	小椋 博美
5	学校教育	宍粟市義務教育 10 年構想 「しそうの子ども生き生きプラン」 後期計画策定委員会委員	嶋村 郁子
6	学校教育	元小学校長	堀田 善巳
7	社会教育	社会教育委員長	宗平 圭司

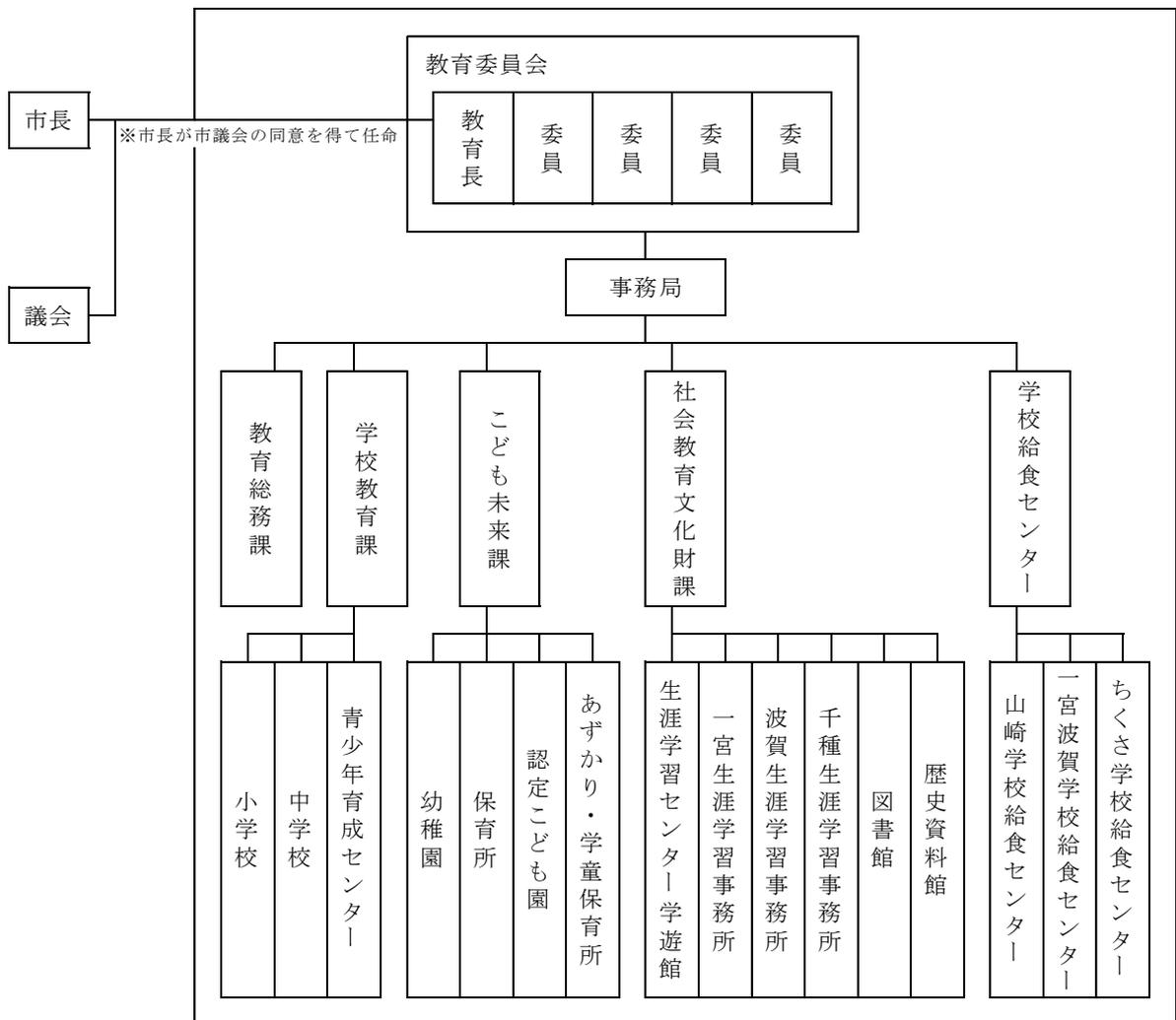
■教育委員会の活動状況

1. 教育委員の構成（平成28年6月3日現在）

役職	委員名	任 期
教育長	西岡 章寿	平成27年6月3日～平成30年6月2日
教育長職務代理者	杉本 健三	平成26年6月3日～平成30年6月2日
委員	弓削 ルリコ	平成25年6月3日～平成29年6月2日
委員	前田 純恵	平成28年6月3日～平成32年6月2日
委員	金本 一二	平成25年6月3日～平成29年6月2日

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成27年4月1日施行）に基づく教育長

2. 教育委員会の組織（平成28年6月3日現在）



※市民の多様な活動の支援、市民との協働の推進、地域コミュニティの活性化等、人づくり、地域づくりの総合的な推進を一体的に推進するため、平成27年度より教育委員会が所管していた事務の一部（スポーツ等）を市長部局職員に補助執行させる。

3. 教育委員会の開催状況

教育委員会議については、必要に応じて開催することとし、平成 27 年度は合計 12 回の委員会を開催しました。

会議回	開催日時	開催場所	傍聴人数
第 1 回	平成 27 年 4 月 16 日 午後 5 時～	市役所会議室	1 人
第 2 回	平成 27 年 5 月 19 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	—
第 3 回	平成 27 年 6 月 3 日 午前 9 時 00 分～	市役所会議室	—
第 4 回	平成 27 年 7 月 23 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	1 人
第 5 回	平成 27 年 8 月 19 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	—
第 6 回	平成 27 年 9 月 28 日 午後 2 時～	市役所会議室	—
第 7 回	平成 27 年 10 月 26 日 午後 4 時 30 分～	市役所庁議室	—
第 8 回	平成 27 年 11 月 16 日 午後 3 時 30 分～	市役所会議室	—
第 9 回	平成 27 年 12 月 21 日 午後 4 時 30 分～	波賀市民局会議室	—
第 10 回	平成 28 年 1 月 21 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	—
第 11 回	平成 28 年 2 月 17 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	—
第 12 回	平成 28 年 3 月 15 日 午前 9 時 30 分～	市役所会議室	—

※傍聴の状況 2 回 延べ 2 人

4. 教育委員会の審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条に定める職務並びに同法第 25 条及び宍粟市教育委員会教育長事務委任規則の規定に基づき、平成 27 年度は合計 28 件について審議しました。

また、教育に関する事務・事業の管理及び執行など、基本的な方針等に関する協議として、合計 121 件について協議、報告を受け、確認しました。

(1) 教育委員会審議案件一覧 [28 件]

議案番号	件 名	議決日
第 1 号議案	平成 27 年度宍粟市一般会計 6 月補正予算(教育委員会関係)案について	H27. 5. 19
第 2 号議案	宍粟市立図書館管理規則の改正について	H27. 7. 23
第 3 号議案	宍粟市生涯学習センター条例の一部を改正する条例案について	H27. 8. 19
第 4 号議案	平成 27 年度宍粟市一般会計 9 月補正予算(教育委員会関係)案について	H27. 8. 19
第 5 号議案	平成 27 年度(26 年度事業) 宍粟市教育委員会点検・評価報告について	H27. 9. 28
第 6 号議案	平成 28 年度 宍粟市立保育所・幼稚園職員異動方針及び職員配置基準について	H27. 10. 26

議案番号	件名	議決日
第7号議案	平成28年度宍粟市立学校教職員の人事異動方針について	H27.11.16
第8号議案	平成27年度宍粟市一般会計12月補正予算(教育委員会関係)案について	H27.11.16
第9号議案	宍粟市立下三方小学校・三方小学校・繁盛小学校の廃止並びに宍粟市立一宮北小学校の設置について	H28.1.21
第10号議案	宍粟市立下三方幼稚園及び繁盛幼稚園の休園について	H28.1.21
第11号議案	平成28年度「宍粟の教育」について	H28.2.17
第12号議案	宍粟市立土万幼稚園及び野尻幼稚園の廃止について	H28.2.17
第13号議案	宍粟市へき地保育所の廃止について	H28.2.17
第14号議案	宍粟市立学校設置条例の一部を改正する条例案について	H28.2.17
第15号議案	宍粟市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例案について	H28.2.17
第16号議案	宍粟市へき地保育所条例を廃止する条例案について	H28.2.17
第17号議案	宍粟市教育研修所条例の一部を改正する条例案について	H28.2.17
第18号議案	宍粟市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について	H28.2.17
第19号議案	宍粟市スポーツ施設条例の一部を改正する条例案について	H28.2.17
第20号議案	宍粟市教育集会所条例を廃止する条例案について	H28.2.17
第21号議案	平成27年度宍粟市一般会計3月補正予算(教育委員会関係)案について	H28.2.17
第22号議案	平成28年度宍粟市一般会計予算(教育委員会関係)案について	H28.2.17
第23号議案	県費負担教職員等の人事の内申について	H28.3.15
第24号議案	学校運営協議会を置く学校の指定について	H28.3.15
第25号議案	一宮北中学校区における幼保一元化について	H28.3.15
第26号議案	宍粟市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則について	H28.3.15
第27号議案	宍粟市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則について	H28.3.15
第28号議案	宍粟市教育研修所条例施行規則の改正について	H28.3.15

(2) 教育委員会協議・報告事項一覧〔121件〕

番号	件名	協議・報告日
1	平成27年度 学校園所組織について	H27.4.16
2	平成27年度 教育委員会事務局組織について	H27.4.16
3	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27.4.16
4	宍粟市食物アレルギー疾患対応マニュアルについて	H27.4.16
5	非常変災等（警報発令）への対応について	H27.4.16
6	しろう学校サポートチームの設置について	H27.4.16
7	平成27年度 教育施設整備計画について	H27.4.16
8	新年度当初の児童生徒の状況及び学校給食実施計画	H27.4.16
9	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27.5.19
10	野尻幼稚園跡地の利用に関する要望書について	H27.5.19
11	理科おもしろ実験教室の実施予定について	H27.5.19
12	宍粟市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部に改正について	H27.5.19
13	宍粟市立学校給食センター支部運営委員会設置要綱の一部改正について	H27.5.19
14	第2次宍粟市総合計画（基本構想・基本計画）の策定予定について	H27.5.19
15	市制10周年記念公演・宍粟市吹奏楽団第4回定期演奏会について	H27.5.19
16	平成27年度宍粟市民大学について	H27.5.19
17	平成27年度宍粟学講座について	H27.5.19
18	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27.6.3
19	野尻幼稚園園舎の活用について	H27.6.3
20	社会科副読本の作成について	H27.6.3
21	平成27年度教員マイスター制度について	H27.6.3
22	千種認定こども園関係工事・機器購入概要について	H27.6.3
23	市民スポーツ活動推進事業について	H27.6.3
24	平成27年度進路状況調査集計表について	H27.6.3
25	学校訪問日程について	H27.6.3
26	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27.7.23
27	学校施設整備工事概要について	H27.7.23
28	通学路交通安全推進協議会の協議状況について	H27.7.23
29	ALTの配置予定（27年7・8月～）について	H27.7.23
30	27年度人権教育講演会について	H27.7.23
31	27年度スライム市派遣事業について	H27.7.23
32	数学・理科甲子園ジュニア2015について	H27.7.23
33	千種認定こども園及び図書館新築工事進捗状況について	H27.7.23

番号	件名	協議・報告日
34	社会教育委員・文化財審議委員・青少年問題協議会委員・図書館運営審議委員について	H27. 7. 23
35	差別をなくそう市民運動推進月間事業について	H27. 7. 23
36	学校給食への異物混入の状況並びに今後の対応について	H27. 7. 23
37	千種 B&G 海洋センタープール建設工事について	H27. 7. 23
38	平成 28 年度使用学校教科用図書・一般図書の採択について	H27. 8. 19
39	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27. 8. 19
40	1 学期「いじめアンケート調査」の結果について	H27. 8. 19
41	幼稚園・保育所における第三者評価の実施結果について	H27. 8. 19
42	(仮称) ちくさ図書館書架等備品購入事業について	H27. 8. 19
43	宍粟市指定文化財の現状変更許可について	H27. 8. 19
44	学校給食における異物混入について	H27. 8. 19
45	2 学期学校訪問について	H27. 8. 19
46	千種認定こども園舎・ちくさ図書館新築工事竣工式について	H27. 8. 19
47	兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会について	H27. 8. 19
48	宍粟市立幼稚園の現状と課題について	H27. 9. 28
49	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27. 9. 28
50	学校施設耐震化事業について	H27. 9. 28
51	通学路交通安全対策の状況について	H27. 9. 28
52	宍粟市いじめ防止対策推進条例に係る取組状況について	H27. 9. 28
53	平成 27 年度スクイム市派遣・訪問団受入について	H27. 9. 28
54	数学・理科甲子園ジュニア 2015 の結果について	H27. 9. 28
55	宍粟市生涯学習センター図書貸出要綱の改正について	H27. 9. 28
56	山崎文化会館引込受変電設備工事概要について	H27. 9. 28
57	家原遺跡公園復元建物改修工事概要について	H27. 9. 28
58	学校給食における異物混入の対応状況について	H27. 9. 28
59	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27. 10. 26
60	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果公表について	H27. 10. 26
61	教育研修所整備計画について	H27. 10. 26
62	認定こども園整備の考え方(案)について	H27. 10. 26
63	宍粟市立図書館の開館延長に伴う利用状況について	H27. 10. 26
64	宍粟市美術展審査結果について	H27. 10. 26
65	西播磨地区人権教育実践発表会(学校教育の部)について	H27. 10. 26
66	学校給食における異物混入対応について	H27. 10. 26
67	千種 B&G 海洋センタープール建設工事概要について	H27. 10. 26
68	播磨圏域連携中枢都市圏 7 市 8 町図書館相互利用の開始について	H27. 10. 26

番号	件名	協議・報告日
69	宍粟市人口ビジョン(案)・地域創生総合戦略(案)について	H27. 10. 26
70	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27. 11. 16
71	平成 28 年度幼稚園入園申込状況について	H27. 11. 16
72	宍粟市教育研修所研究大会について	H27. 11. 16
73	平成 28 年度子ども・子育て支援新制度利用児童募集等について	H27. 11. 16
74	平成 28 年成人式について	H27. 11. 16
75	学校給食における異物混入の状況について	H27. 11. 16
76	学校給食配送車の更新(購入)について	H27. 11. 16
77	12 月人権週間関連事業・西播磨人権のつどいについて	H27. 11. 16
78	市民スポーツ活動推進事業について	H27. 11. 16
79	第 11 回宍粟市ロードレース大会申込状況について	H27. 11. 16
80	宍粟市中学生サミットによる SNS 利用ルールの決定について	H27. 11. 16
81	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H27. 12. 21
82	学校教職員の処分について	H27. 12. 21
83	特別支援教育充実に向けての要望について	H27. 12. 21
84	平成 28 年度版「宍粟の教育」編集方針について	H27. 12. 21
85	平成 28 年度 教育施策について	H27. 12. 21
86	学校給食における異物混入の状況について	H27. 12. 21
87	第 11 回宍粟市駅伝大会について	H27. 12. 21
88	千種高校生徒への給食提供に関する要望について	H27. 12. 21
89	「ひょうご林業大学校(仮称)」の創設について	H27. 12. 21
90	旧 土万小学校施設活用「相生学院高等学校宍粟校」の開校について	H27. 12. 21
91	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H28. 1. 21
92	平成 28 年度 幼稚園入園申込状況について	H28. 1. 21
93	平成 28 年度 「宍粟の教育」第一次素案について	H28. 1. 21
94	2 学期いじめアンケート調査の結果について	H28. 1. 21
95	平成 28 年度 保育所・認定こども園入園申込受付状況について	H28. 1. 21
96	幼保連携型認定こども園(みのり保育園)設置認可について	H28. 1. 21
97	平成 28 年度 あずかり保育・学童保育入所受付状況について	H28. 1. 21
98	文化財保護法施行令改正に伴う教育委員会の権限に属する事務に係る事務処理の特例に関する条例の一部改正に伴う県から市への権限委譲に関する協議について	H28. 1. 21
99	西播磨地区人権教育研究協議会 第 22 回学校園所人権教育総括大会について	H28. 1. 21
100	人権教育実践発表会(社会教育の部・本発表)について	H28. 1. 21
101	学校給食における異物混入の状況について	H28. 1. 21

番号	件名	協議・報告日
102	学校給食危機管理対応マニュアルの改訂について	H28. 1. 21
103	宍粟市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する検証について	H28. 1. 21
104	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H28. 2. 17
105	平成 28 年度 都多幼稚園の運営について	H28. 2. 17
106	特別支援教育の充実に向けての要望について	H28. 2. 17
107	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	H28. 2. 17
108	幼児教育無償化の段階的取組について	H28. 2. 17
109	学校給食における異物混入の状況について	H28. 2. 17
110	兵庫県立林業大学校（仮称）の設置について	H28. 2. 17
111	平成 27 年度 卒業（卒園）式、平成 28 年度入学式について	H28. 2. 17
112	下三方・三方・繁盛小学校閉校式について	H28. 2. 17
113	学校規模適正化・幼保一元化推進状況について	H28. 3. 15
114	宍粟市学校危機管理マニュアル（避難所開設・運営マニュアル）について	H28. 3. 15
115	宍粟市学童保育所要綱の一部改正について	H28. 3. 15
116	学校給食における異物混入の状況について	H28. 3. 15
117	千種 B&G 海洋センタープール指定管理者の募集及び今後の予定について	H28. 3. 15
118	宍粟市スポーツ大会出場奨励金交付要綱の改正について	H28. 3. 15
119	第 11 回宍粟市さつきマラソン大会の参加申込状況について	H28. 3. 15
120	平成 28 年度 学校園所等児童生徒数（見込）について	H28. 3. 15
121	一宮北小学校開校式について	H28. 3. 15

5. 教育委員会委員の活動状況

月	内 容
4月	波賀小学校開校式 ちくさ杉の子こども園開園式 小・中学校入学式 退職者感謝状贈呈式
5月	兵庫県市町村教育委員会連合会理事会 兵庫県市町村教育委員会連合会定時総会・研修会
6月	兵庫県女性教育委員総会・研修会 学校訪問
7月	中・西播磨地区市町教育委員会連合会総会・研修会 学校訪問
8月	中・西播磨地区市町教育委員会連合会研修会 宍粟市教育研究大会 教育講演会
9月	ちくさ杉の子こども園・ちくさ図書館新築工事竣工式 体育祭・運動会 学校訪問
10月	中・西播磨地区女性教育委員研修会 近畿市町村教育委員研修大会 学校訪問
11月	中・西播磨地区女性教育委員研修会 学校訪問
1月	成人式 教育研究大会
2月	中・西播磨教育委員研修会
3月	小・中学校卒業式、幼稚園卒園式 ちくさ杉の子こども園修了式 下三方小学校閉校式 三方小学校閉校式 繁盛小学校閉校式

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《就学前教育・保育》 夢と希望を育み 豊かな人間性の基礎づくり

基本目標 1 0歳から就学前まで、すべてのこどもの教育・保育の充実

- 実践目標 (1) 発達や学びの連続性を踏まえた教育・保育の充実
 (2) 自立と協同の態度の育成と人権教育の推進
 (3) 保育者の専門性と資質の向上

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

実践目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①保育所・幼稚園・こども園は、子どもの健やかな成長を促す教育・保育計画を作ります。</p> <p>(1)-②保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員が互いの実践への理解を深め、連携を充実します。</p> <p>(1)-③特別な支援が必要な子どもの指導については、保護者や各専門機関と連携し、一人一人に応じた支援に努めます。</p> <p>(1)-④就学前教育・保育の充実を図るため、各地域の実情に応じた幼保一元化を推進します。</p>	<p>(1)-①② 教育・保育内容の充実 ◆保護者の肯定度 ◇幼稚園・公立保育所・こども園（千種）保護者アンケート ・子どもは幼稚園・保育所・こども園に行くのを楽しみにしている。 幼稚園 96% 保育所・こども園 86% ・教育方針や子どもの生活や遊びがよくわかる 幼稚園 95% 保育所・こども園 95% ※連携の充実…交流・連携の実施状況 幼・保・私立で100%実施 ・主な交流・連携内容（多い順に） 【幼児と児童・生徒間】（累計269回） ①絵本の読み聞かせ ②マラソン大会参加・応援③体験入学④その他：給食試食会、運動会・学習発表会見学、音楽コンサート、七夕、畑作り、文化祭、パン作り、幼児と児童や生徒との交流授業、ふれあい教室、トライやる・ウィーク、昼休みふれあいタイムなど 【教師間】（累計171回） ①中学校区の研修会・講演会②教育連携連絡会③その他（授業参観・公開保育、出前授業、幼小合同職員会、異校種間の交流計画作成、校区校長会、プール打ち合わせ、運動会来賓など）</p> <p>(1)-③ 特別支援教育の取組 ◆コーディネーターネットワーク会議参加者数（計6回開催） ◇幼・保・私の参加：全26園所から参加 内訳：園・所長19名、主任級6名、担任9名、特別支援担当者7名</p> <p>(1)-④ 幼保一元化進捗状況 ※ 千種中学校区に平成27年4月公私連携幼保連携型認定こども園として『ちくさ杉の子こども園』（分園方式）が開園、同年9月からは新園舎で保育を開始した。 ・地域の委員会開催状況：波賀中学校区4回 一宮南中学校区2回 一宮北中学校区3回</p>	<p>(1)-①教育・保育内容については保護者からおおむね高い肯定度の数値が出ている。さらに今後は重要事項説明書の作成により、保護者に対する説明をより具体的にすすめる。</p> <p>(1)-②幼稚園・こども園は小・中学校に隣接しており比較的交流が容易であるが、保育所も体験入学やトライやる・ウィークなど例年行われてきた行事だけでなく交流する機会を設けるよう努力している。また、職員間の交流・連携についても中学校区パートナーシップ事業により校区での研修や講演会、授業参観などの取組が増えている。今後の課題としては、就学前教育・保育と小学校への接続という視点での連携が課題である。</p> <p>(1)-③27年度は、市内15園所にて特別支援保育を実施した。支援が必要な子どもに対する指導にどう取り組んでいくかについては、理解を深めるための研修への参加や児童生徒支援スーパーバイザーとの連携による園所への訪問指導などをすすめてきた。研修を受けることの必要性については理解が進んでいるので今後も参加の呼びかけや資料の提供、関係機関との連携調整などを工夫していく必要がある。</p> <p>(1)-④ちくさ杉の子こども園については、開園1年目を終え、運営協議会にて実施状況の検証を行った。一宮北中学校区については、地域の委員会としての今後の進め方について方向性を決定した。（平成28年4月以降に新たな幼保連携型認定こども園を作るための協議会を設置し、場所や運営法人の募集及び選定などの具体的な協議を始める）その他の地域の委員会については協議を継続することとなった。</p>	<p>B+</p>	<p>○保育所が教育委員会管轄になったこともあり、民間保育所も保育所が在る地域の小学校との連携が多くなり、児童が小学校というものを学ぶ良い機会になっている。</p> <p>○特別支援教育コーディネーターが幼稚園、保育所とも関わり、支援を要する児童への対応や学校との連携ができています。</p> <p>○児童数が減っている中、幼保一元化のようなことも必要とは思いますが、理解を得るためには、もっと住民への説明が必要である。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《就学前教育・保育》 夢と希望を育み 豊かな人間性の基礎づくり

基本目標 1 0歳から就学前まで、すべてのこどもの教育・保育の充実

- 実践目標 (1) 発達や学びの連続性を踏まえた教育・保育の充実
 (2) 自立と協同の態度の育成と人権教育の推進
 (3) 保育者の専門性と資質の向上

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

実践目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(2)-①遊びや生活を通して自ら行動する力、伝え合う力を育てます。 ・集団遊び ・話し合いや振り返り ・当番活動</p> <p>(2)-②友だちやさまざまな人と触れ合ったり、自然や身近な動植物に親しんだりする活動を通して人とかかわる力を育てます。 ・約束を守る ・物事の善悪に気づく ・生活に必要な態度や習慣を身につける</p> <p>(3)-①研修計画の見直しと研修内容の充実により、保育者の資質向上を図ります。</p> <p>(3)-②専門家からの評価を参考に、教育・保育活動を定期的に見直し、指導内容の改善と向上に努めます。</p>	<p>(2) 自立と協同の態度の育成と人権教育の推進 ◆保護者の肯定度 ◇幼稚園・公立保育所・こども園（千種）保護者アンケート ・わが子の成長が感じられる 幼稚園 96% 保育所・こども園 96%</p> <p>(3) 保育者の専門性と資質の向上 ※研修内容の充実について…全園所が研修実施 ◆研修参加率 ◇園・所内研修90% 園外研修（他園での研究保育参加）88% 市の研修に参加（講演会、研究保育など）96% 県、西播磨地区などの公的な研修92% 外部研修（こどもの館、大学など）81%</p> <p>◆評価の取り組み実施状況 ◇幼稚園・公立保育所の自己評価・関係者評価 100%実施 ◇私立保育園・こども園 職員の自己評価 89%実施 園所の自己評価 44%実施</p> <p>◆改善への取り組み状況 ◇自己評価を踏まえて改善に取り組んだ 78% 外部評価の意見を参考に改善に取り組んだ 43%</p>	<p>(2)-①自ら行動する力、伝え合う力を育てること、様々な人とのふれあいや自然や身近な動植物と親しむ活動を通して人とかかわる力を育てることについて、保護者は各園所での毎日の保育活動を通してわが子は成長していると肯定的に捉えられている。保育参観にと研究協議を実施する中で、保育内容について確認し助言や意見交換をしているが、今後も幼児期に育てたい力について各園所の職員一人一人が共通理解をし教育・保育の質を向上させていきたい。</p> <p>(2)-②教育・保育の質の向上のためには研修が必要であるので、市の教育研修所事業では幼稚園部会、保育所部会がそれぞれで研修を計画し、公・民間問わず参加ができる体制をとっている。また、公立保育所・幼稚園で開催した公開保育による研修会に民間保育園・こども園からも積極的な参加があり、互いに連携して若い保育者の育成に取り組むことができた。</p> <p>(3)-①職員の自己評価には概ね取り組むことができているので、自己評価から明らかになった課題の改善に取り組むことによって園・所の保育の質の向上につながるという理解が深まるよう、各園所に働きかけていく必要がある。</p> <p>(3)-②今後も研修内容の工夫や参加しやすい日程調整（曜日、時間帯、複数回開催など）などに取り組んでいく。</p>	<p>B+</p>	<p>○研修など、質の向上に更に取り組む必要がある。</p> <p>○自己評価については、財政的課題もあり外部評価に取り組めないこともあるが、宍粟市の子どもを公平に育てる環境のために、情報交換等をお願いしたい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《就学前教育・保育》 夢と希望を育み 豊かな人間性の基礎づくり

基本目標 2 安心で楽しい子育てと健やかにこどもが育つ環境づくり

実践目標 (1) 発達及び生活の連続性に配慮した保育の充実
 (2) 保育所・幼稚園・こども園が身近に感じられる子育て支援の充実

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①子どもの健やかな成長に欠かせない「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的生活習慣の定着を図っていきます。</p> <p>(1)-②子どもたちが楽しんで体力づくりができるよう、運動や遊びを工夫します。</p> <p>(1)-③保護者の協力を得ながら、本に出会う環境づくりや、絵本の読み聞かせ活動を充実します。</p> <p>(2)-①地域の中での身近な子育て支援の場となるよう、子育てに関する情報を発信するとともに、園庭を開放したり、行事・保育への参加を呼びかけたりします。</p>	<p>(1)-① 基本的生活習慣の定着 ◆『早寝・早起き・朝ごはん』保護者の肯定度 ◇幼・保・こども園アンケート ・早寝早起き朝ごはんの生活習慣ができている 93% ・食への興味が高まり、嫌いなものも食べようとする 89%</p> <p>(1)-② 体力づくりの取組 ◆しーたんチャレンジ（体力測定）参加人数 ◇幼・公立保・こども園 4歳児150名 5歳児174名 【全国平均との比較】 男児：ボール投げ107% 立ち幅跳び83% 25m走101% 女児：ボール投げ117% 立ち幅跳び85% 25m走104% ◆保護者の肯定度 ◇幼・保・こども園アンケート ・遊びを通して体力がついてきたと感じる 75%</p> <p>(1)-③ 絵本に親しむ環境づくり ◆絵本一新計画による全幼稚園・保育園所・こども園への絵本配布数 ◇幼稚園1,093冊 公・私立保育所・こども園1,338冊 ◆保護者肯定度 ◇幼・保・こども園アンケート ・幼稚園・保育園所・こども園での読み聞かせを楽しみにしている 幼稚園96% 保育所・こども園86% ・貸し出し絵本の利用を楽しみにしている 幼稚園96% 保育所・こども園92%</p> <p>(2)-① 身近に感じられる子育て支援の充実 ◆情報発信にかかる保護者の肯定度 ◇公立幼・保・こども園アンケート ・幼稚園・保育園所は子育てについて相談しやすい 幼稚園94% 保育所・こども園91% ・幼稚園・保育園所からの情報はわかりやすい 幼稚園89% 保育所・こども園94% ◆子育て支援の取組：園庭開放等参加者数 ◇1回の平均人数 幼稚園6～10人 保育所・こども園5～20人 ※行事等により変動有</p>	<p>(1)-①各園所の保育の取組の中で、最も保護者に大切にして欲しいと伝えていることは、生活リズムを整えることが子どもの健やかな成長につながるということであり、概ね保護者も理解されていることがわかる。また、子どもたちの料理体験や野菜栽培・収穫体験などの食育活動もほとんどの園所が実施している。しかし、保護者の中には良いこととは理解しているが、家庭での生活につながっていかない実態もあるので、市の関係機関や地域の方の力も借りながら家庭への働きかけを続けていきたい。</p> <p>(1)-②宍粟市の4歳児、5歳児の子どもたちの身体活動能力や今後、体力の向上を図るためにどんな運動を取り入れるべきかを具体的に検証するために、幼児が比較的容易に実施できる体力測定を実施した。得られたデータを全国平均と比較した結果、投げる、走るなどの身体活動については全国平均を上回っており、日常生活の中での運動量や園所生活での運動の取り入れ、運動への興味による意識変化などがうかがわれた。下回っていたのは脚を使う動作（瞬発力）であり、毎日の生活の運動は『脚』によって支えられているので、階段の上り下りやジャンプの動作を遊びに取り入れていく必要がある。</p> <p>(1)-③市内の保育所・幼稚園の絵本は古いものが多く、子どもたちが手に取ることがないものも多かった。そこで、ふるさと納税の活用により、市内全園所に専門家である司書が推奨する絵本を新たに購入し配布した。この計画は2年計画であるので、28年度も引き続き実施する予定である。</p> <p>(2)-①地域における子育て支援については、各園『園庭開放』や行事への参加などを実施している。参加者にとっては親同士の情報交換の場となったり、子ども同士、大人と子どもともかかわれる場となっている。また、参加者が慣れてくると保護者も相談をしやすくなり子育て支援につながった事例もある。しかし、地域に広く情報を発信することが困難であったり、子育て支援専任の職員を配置することが難しいので、職員への負担が大きい。また、子どもが少ないので参加者も少ないなどの課題がある。</p>	<p>B+</p>	<p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は脳の発達につながるという話を聞いたことがある。そういうことを保護者へもっと啓発する必要がある。</p> <p>○体力向上には、日頃の体験により培われるものが大きい。体験を通して鍛えられている。</p> <p>○現代はテレビなど映像による刺激的な情報も多いが、幼児期だけでなく、大きくなって本に親しむことの重要性を考えて取り組まなければならない。</p> <p>○子育て支援員配置については、財政面などの課題もあるが、検討してもらいたい。</p> <p>○インターネットなどで子育て情報が多くある中、核家族化により祖父母等からの教えない家庭も多く、子育てに対する不安が大きい。園所での子どもの様子や子どもに対する気づきを親に伝えることも必要である。</p> <p>○子どもには地域との関わりだけでなく、家族の関わりが重要である。園は子どもの課題を見つけてもらえる場でもあり、親はそれをしっかり受け止めて子どもに関わることが必要である。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《就学前教育・保育》 夢と希望を育み 豊かな人間性の基礎づくり

基本目標 3 みんなが子育てに関心を持ち、見守り支援する地域社会の構築

実践目標 (1) 社会全体でこどもを育てる環境づくり

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①地域ボランティアの支援や、地域の教育力を生かした教育・保育に努めます。</p> <p>(1)-②関係機関や医師、主任児童委員、保健師等と連携して、子どもたちが地域に見守られて育つ環境づくりに努めます。</p> <p>(1)-③子どもたちの健康と安全を守るため、家庭や地域と連携した防災・安全・健康教育を実施します。</p>	<p>(1)-① 地域の教育力を生かした教育・保育づくり ◆地域の人との交流回数(年間実績累計) ◇・地域の老人クラブとの交流 幼13回 公立保4回 私立保・こども園6回 ・読書ボランティア 幼158回 公立保76回 私立保・こども園14回 ・高齢者施設、福祉施設等の訪問 幼16回 公立保4回 私立保・こども園26回 ・地域の農園、果樹園、畑への訪問 幼26回 公立保17回 私立保・こども園33回 ・その他：地域行事への参加、散歩での交流など</p> <p>(1)-② 地域に見守られて育つ環境づくり ◆主任児童委員、保健師等の訪問・相談率 (幼稚園・公私立保育所・こども園26か所) ◇・保健師100% ・家庭児童相談員93% ・民生委員・児童委員63% ・嘱託医31% ・市の相談事業30%</p> <p>(1)-③ 防災・安全・健康教育の取り組み ◆防災・安全・健康教育実施回数または実施率 ◇市内全園所で実施 ・避難訓練（年間実施回数平均） 幼5.9回 公立保12回 私立・こども園10.7回 ・安全教育（年間実施回数平均） 幼5.4回 公立保4回 私立保・こども園11回 ・安全教育：内容別実施率 ①火災避難訓練100% ②台風・地震等災害退避訓練96% ③不審者対応74% ④交通安全教室86% ⑤防災教室75% ⑥保護者引渡し訓練51% ⑦救急救命・応急手当等40% ⑧施設見学（消防署・防災センターなど）40% ・健康教育の実施・・・100% ・健康教育：内容別実施率 ①こどもへの食育指導86% ②保護者参加の食育教室52% ③こどもへの歯磨き教室74% ④歯科衛生指導11% ⑤こどもへの衛生・健康指導48%</p>	<p>(1)-①幼稚園・保育所・こども園では子どもたちが園所や家族だけではなく、多くの人たちと触れ合い、様々な体験を通して成長していくことを教育・保育計画の中に位置づけており、交流の頻度や受け入れ先などに違いはあるものの、積極的に交流に取り組んでいる。交流先や相手との調整等に園によっては負担が大きいところもあるが、園所が互いに交流の方法などを情報交換するなど、園所の実情に応じた交流ができるようにする。</p> <p>(1)-②例年、保健師や家庭児童相談員による園所訪問が実施され連携をしている。ただ、健康福祉部や教育委員会などの市の相談事業の仕組みについて理解が進んでいないことが伺われ、今後更に連携し情報提供することが必要である。</p> <p>(1)-③各園所における防災・安全・健康教育の実施状況調査を行った。その調査結果を情報提供することで、取組が少ない内容については各園所の実情に合わせて取組を充実させるよう促すことができた。</p>	<p>B-</p>	<p>○宍粟市にあった災害訓練など、各園所に様々な情報の提供をお願いしたい。</p> <p>○各園所の課題を現場の課題としてだけでなく、担当部署の課題としても捉えられていることを評価する。今後更に取り組んでもらいたい。</p> <p>○保護者の各種訓練参加については、訓練の種類に偏りなく、参加率が高まるよう啓発をお願いしたい。</p>	<p>B-</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 1 宍粟に生き、宍粟を活かす人づくり

実践目標 (1) 宍粟の良さを知り、宍粟を愛する子どもの育成
(2) 宍粟の未来につながるキャリア教育・進路指導の推進

※評価指標
「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

実践目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①宍粟の自然や地域資源を活用して、学年や発達段階に応じた体験学習等、「ふるさと宍粟」に学ぶ教育の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学3年生「環境体験学習」 ・小学4年生「ふるさとしそ探検隊」 ・小学5年生「自然学校」 ・中学2年生「トライやる・ウィーク」 <p>(2)-①各校区における地域学習や「トライやるアクション」、県立ものづくり大学の「ものづくり体験学習」等、体験から学ぶ取組の充実を図りながら、学校全体でキャリア教育・進路指導を推進します。</p>	<p>(1)-① 「ふるさと宍粟」に学ぶ教育の充実</p> <p>※環境体験学習：全小学校で年3回以上実施</p> <p>※ふるさとしそ探検隊：校区の自然環境を活用した自然体験（宍粟独自取組 全小学校実施） （内容例）学校田、伊沢川、国見山など</p> <p>※自然学校：宍粟市内での実施 （市内実施は宍粟独自取組 全小学校実施） （内容例）カヌー体験、宍粟の山への登山など</p> <p>※トライやる・ウィーク（全中学校実施） 地域の協力を得た職業体験 （実施箇所例）農園・お寺・観光施設・商業施設など</p> <p>(2)-① キャリア教育の推進</p> <p>※県立ものづくり大学における「ものづくり体験学習」を全中学校で実施</p> <p>※地域人材の活用及び交流：全小・中学校で実施</p>	<p>(1)宍粟の良さを知り、宍粟を愛する子どもの育成 全国学力・学習状況生活習慣等調査結果より「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合は全国平均、県平均を大きく上回っており、「宍粟の良さを知り、宍粟を愛する」子どもの育成については大きな成果を得ている。また、肯定的な評価（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）を回答した児童生徒数も年々増加してきている。具体的には小学校では100%に近い値となっており（H27 94.6%）、今後もこのレベルを維持向上していきたい。</p> <p>(2)宍粟の未来につながるキャリア教育・進路指導の推進 地域人材をゲストティーチャーとして学校に招き、交流活動を実施することで、ふるさとに対する興味関心を高めるとともに働くことへの意識付けを行っている。今後は、異校種間が連携して、体験活動や進路指導の体制充実を図ることでキャリア教育の一層の推進に取り組んでいきたい。</p>	<p>B+</p>	<p>○ふるさと宍粟探検隊など良い取組である。自分のふるさとを大事にする子どもが育っていることを誇らしく思う。</p> <p>○学校現場は大変であろうが、安全等に配慮され、創意工夫された体験活動は大変良いことである。</p> <p>○よい事業であるので、今後も更なる充実を期待する。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 2 社会の変化に対応する学校づくり

- 実践目標 (1) 義務教育9年間の連続した教育体制の構築
 (2) 多様な要望に応える学習指導の確立
 (3) 宍粟市の特性を踏まえた教育環境整備

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①保育所・幼稚園・こども園を含めた各中学校区の交流授業を実施するなど、異校種間の滑らかな接続を図ります。 ・しそ「保幼・小・中」パートナーシップ</p> <p>(1)-②各中学校区内の先生が互いに協力して、小中一貫教育を推進し、9年間を見据えて校区の子どもを育てる取組の充実を図ります。</p> <p>(2)-①全国学力・学習状況調査結果の分析から、成果と課題を明らかにし、学校と家庭が連携した学力向上に向けた取組を推進します。</p> <p>(2)-②特別な支援を必要とする子どもたちやその家庭への相談体制を充実させるとともに、市の福祉部とも連携しながら、保育所・幼稚園・こども園・小中学校が連続した支援や指導を行います。</p>	<p>(1)-① 異校種間の滑らかな接続 ◆しそ「保幼・小・中」パートナーシップ 組織率 ◇100%</p> <p>(1)-② 小中一貫教育の推進 ◆小中一貫教育推進の実施割合 ◇100%</p> <p>(2)-① 学力向上に向けた取組 ※学力向上に向けた取組 ・「しそ学力向上ガイドブックvol.1」（「書く力」「考える力」を育てるノート指導）（H25策定） ・「しそ学力向上ガイドブックvol.2」（板書計画による授業づくりのすすめ）（H26策定）</p> <p>(2)-② 保育所・幼稚園・こども園・小中学校が連続した支援や指導の実施 ◆教育連携連絡会議の実施（各校3回以上） ◇100%</p>	<p>(1)義務教育9年間の連続した教育体制の構築 小中一貫教育をベースとした「保幼・小・中」パートナーシップの取組については中学校区での取り組み方に差がある。今後更に、取組の充実を図っていくためには情報交流と改善のための協議が必要である。</p> <p>(2)-①学力向上 全国学力・学習状況調査より、宍粟の子どもたちの学力を分析すると次のように総括できる。 【小学校】 基礎基本的な学力は全国平均程度だが、年々、全国平均値を下回る程度が大きくなっている。また、国語では漢字を活用して短文をつくる能力や説明文や意見文を書く能力に、また、算数では思考する力、知識を活用する力や表現する力に課題がある。 【中学校】 基礎基本的な学力はほぼ身につけているが、国語では、すべての条件を満たすように書いたり、問題文に書いてあることと関連づけて自分の意見を文章にまとめたりすることに課題が見られる。また、数学では思考する力や表現力に課題があると分析できる。 確かな学力育成の取組を充実させ、これらの課題を解決するために当市では学力向上検討委員会を年間複数回開催し、施策の検討・実施を行っている。</p> <p>(2)-②保育所・幼稚園・こども園・小中学校が連続した支援や指導の実施 特別な支援を必要とする児童生徒の適切な指導と支援が就学前から中学校まで連続して引き継がれることをめざし、教育連携連絡会を保育所・幼稚園・こども園と小学校、小学校と中学校の間で、年間3回（8月、12月、3月）開催している。対象児童生徒の発達に応じた支援のあり方について、サポートファイルや個別の指導計画をもとに、担当保育士・教師が情報交換し、個々の支援ニーズに応じた適切な指導と支援が継続して行えるようになったことで、就学・進学直後の環境変化にともなう学校不適應の未然防止に役立っている。</p>	<p>B+</p>	<p>○学力向上については、応用力が不足しているとのことであるが、基礎学力が身につけていけば、伸びて行くと思うので、基礎部分も大切にしてほしい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 2 社会の変化に対応する学校づくり

- 実践目標 (1) 義務教育9年間の連続した教育体制の構築
 (2) 多様な要望に応える学習指導の確立
 (3) 宍粟市の特性を踏まえた教育環境整備

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(2)-③特別支援教育コーディネーターを中心に、校内の特別支援教育推進体制の充実を図ります。</p> <p>(2)-④教育委員会の読書活動推進指導員や読書ボランティアなどの協力を得ながら、読書習慣の定着を図ります。 ・図書を読み聞かせ ・学校図書館の整備 ・学校園所での読書タイムの充実</p> <p>(2)-⑤小学校外国語活動での指導補助など、外国語指導助手(ALT)の活用を一層進めます。</p> <p>(2)-⑥中学生を対象とした英語スピーチコンテスト、スクイム市派遣国際交流事業を実施し、国際化に対応できる人材を育てます。</p> <p>(2)-⑦情報リテラシー教育の充実を図り、スマートフォンやパソコンなどの情報機器に正しく対応できる能力を養います。</p>	<p>(2)-③ 特別支援教育推進体制の充実 ※特別支援教育総合サポート事業の実施 1 学校園所巡回相談 2 特別支援入パ「ビ」ジョンの取組 ～学校園所からの相談への対応 3 しそうカウンセリングルーム 4 特別支援教育コーディネーターネットワーク会議 5 教育連携連絡会議 6 宍粟市教育支援委員会</p> <p>(2)-④ 読書ボランティアの充実 ◆児童生徒1人あたりの読書ボランティア数 ◇H27 0.067名(216名/3247名) ◆全国学力・学習状況生活習慣等調査結果より 学校の授業時間以外の読書時間(月～金曜日・1日あたり)が30分以上の児童生徒の割合 ◇H27(宍粟市・全国) 小6 31.7% : 37.7% 中3 37.2% : 30.6% H25(宍粟市・全国) 小6 33.8% : 36.6% 中3 30.3% : 29.5%</p> <p>(2)-⑤ 外国語指導助手(ALT)の活用促進 ◆ALTを活用した授業実施率 ◇100%</p> <p>(2)-⑥ 英語スピーチコンテスト、スクイム市派遣国際交流 ◆スクイム市への派遣人数 ◇累計169名 ◆スクイム市からの訪問人数 ◇累計120名 ※英語スピーチコンテスト 会場持ち回りで毎年開催 H27波賀中学校 スクイム市からの訪問生徒、地域住民参加あり</p> <p>(2)-⑦ 情報リテラシー教育の状況 ※SNSの普及に対応するため、子どもたち自身が話し合い、宍粟市中学校共通のルールを策定 ・宍粟市中学生サミットC7による 「SNS利用上のルール7か条」 H27.4月作成</p>	<p>(2)-③特別支援教育推進体制の充実 年間5回の特別支援教育コーディネーターネットワーク会議を開催し、特別支援教育コーディネーターの専門性と力量を高めるための研修を行った。これにより、各学校園所では特別な支援を必要とする幼児児童生徒の実態把握が適切に進められ、サポートファイル、個別の指導計画の充実に役立った。また、校園所内委員会の定期的な開催により、該当幼児児童生徒の適切な就学指導と支援方針を協議することができた。</p> <p>(2)-④読書ボランティアの充実 全小中学校で読書ボランティアが活動している。しかし、中学校における読書ボランティア活動は小学校ほど活発になっていない現状がある。今後は、より活発な取組となるよう啓発するとともに読書ボランティアの資質向上に役立つ研修会などを実施していく必要がある。</p> <p>(2)-⑤外国語指導助手(ALT)の活用促進 文部科学省が平成25年に発表した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画外国語活動」のなかで平成32年度からは、小学校5、6年生における外国語活動の時間を年間70単位時間と現在の2倍に増やし、正式な教科化を行うとともに、小学校3、4年生でも必修化する方向性を打ち出している。これら、国や県の方針に沿った新しい授業を創造していくために研究を進めていくとともに、小学校へのALTの配置についても検討していく必要がある。</p> <p>(2)-⑥英語スピーチコンテスト、スクイム市派遣国際交流 平成27年度は派遣10名(受け入れ10名)で実施した。今後も派遣生徒の選考については、選考基準に基づき公平に行うとともに、交流の内容についても充実を図っていきたい。</p> <p>(2)-⑦情報リテラシー教育の充実 中学校ではC7(宍粟市中学生サミット)で繰り返し協議を行い、中学生による市内統一のルールを作成することができた。今後は小学校においても発達段階に応じて情報リテラシー教育を推進していく必要がある。</p>	<p>B+</p>	<p>○読書では思考力、想像力が養われる。読書ボランティアの活用もされているが、ボランティアの受け入れ態勢や資質向上、本の選び方など取組内容の充実が必要である。</p> <p>○調査結果では、読書時間が短い。読書の重要性をしっかりと考え、時間の確保やボランティアの活用をしてほしい。</p> <p>○情報リテラシー教育については、千種高校でも取り組まれており、千種中学校との連携も行うとのこと。先進的な事例として取り組みを進めてほしい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 2 社会の変化に対応する学校づくり

- 実践目標 (1) 義務教育9年間の連続した教育体制の構築
 (2) 多様な要望に応える学習指導の確立
 (3) 宍粟市の特性を踏まえた教育環境整備

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(3)-①学校規模適正化推進計画に基づき、保護者や地域の皆さまの理解のもと、一定規模の集団化により教育効果を高めます。</p> <p>(3)-②計画的に学校の施設整備を進めます。特に魅力的なわかりやすい授業が展開されるよう、ICT機器の導入や更新を行います。</p>	<p>(3)-① 学校規模適正化の状況 ◆学校規模適正化推進計画に基づく再編後最終校区数10校 ◇《実施の状況》 H28.4.1時点 全13校 《今後の予定》 H30.4.1時点 全12校 ◆懇談実施状況《27年度末時点開催回数》 ◇（地区協議会） 新校開校に向けて必要な事項を協議する組織 ・一宮北中学校区：27年度5回（全13回） ・一宮南中学校区：27年度5回（継続中） （地域の委員会） 適正化実施の地域の方向性を決定する組織 ・伊水・都多小学校区：27年度1回（全7回） ◆児童・生徒・保護者・地域住民の満足度 27年4月開校《波賀小学校》 ◇保護者アンケート ・新しい波賀小学校づくりについて（記述式） 「良い」等記述意見14件 「期待」等記述意見6件 ◇児童アンケートの実施 （A：そう思う、B：どちらからといえばそう思う、C：あまり思わない、D：思わない） ・学校生活は楽しいか 回答 A：141 B：38 C：1 D：1 ・学級の友達たちと仲良く助け合い、教え合いができていますか 回答 A：131 B：46 C：4 D：0</p> <p>(3)-② 学校の施設整備 ◆ICT機器の導入数 ◇小学校2校 （戸原小学校、波賀小学校：先行導入） ・教員用タブレット、大型モニター、授業支援システムなど</p>	<p>(3)-①学校規模適正化の状況 学校規模適正化により一定の集団化を進めることができている。27年4月開校の波賀小学校での学校評価アンケート結果からは、児童数が増え、日々の児童の様子からも児童同士の交流が進んでおり、友達が増え楽しく学校生活を送っているという記述もあり、一定の集団規模を確保した効果が見受けられた。今後も規模適正化にかかる課題や児童や保護者の不安等について、学校と連携し、解消に努める。また、他校区についても、引き続き保護者・地域住民との協議を重ね、学校規模適正化の推進を図り、児童の育成に努める。</p> <p>(3)-②学校の施設整備 施設整備については、年次計画に順じ導入等に取り組んでいる。 ICT機器の全小学校への導入を進める一方、先行導入により、そのノウハウの共有化を図るとともに、より良い活用ができるよう教員研修などが必要である。</p>	<p>B+</p>	<p>○学校規模適正化については、保護者や地域に適正化したものが具体的に見えてくることが大事である。時間はかかるかもしれないが、今後もその方向で協議を続けてほしい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 3 教師力を高める学校づくり

- 実践目標 (1) 自発的研修の推進
 (2) 宍粟市教育研修所の機能強化
 (3) こどもと向き合う体制づくり

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
(1)-①各学校園所ごとの研修や教員の自主的な研修を応援します。 (1)-②宍粟市教員マイスター制度を活用し、わかる授業づくりを応援します。 (2)-①大学との連携により、各年齢層に応じたテーマでライフステージ別研修を実施します。 (2)-②教育研究大会や教育講演会などの教育研修所事業を充実させます。 (3)-①教師が児童・生徒としっかり向き合える時間を確保します。 ・「ノー会議デー、ノー部活デー」	(1)-① 研修の活性化 ◆校内研修実施率 ◇100% ◆公開授業実施率 ◇100% (1)-② 教員マイスター制度の充実 ◆教員マイスター認定率 ◇H27 100% (9教科/9教科) H25 33.3% (3教科/9教科) (2)-①、(2)-② ◆研修所事業実施数 ◇ライフステージ別研修9講座 (3)-① ノー会議デー・ノー部活デーの実施 ◆ノー会議デー・ノー部活デー実施率 (平均週1回以上) ◇100%	(1) 自発的研修の推進 平成27年度から、小中学校のすべての教科で教員マイスターを任命した。このことにより、マイスターによる公開授業が従来以上に活発に行われ、若手教員の育成に大きく役立っている。 (2) 宍粟市教育研修所の機能強化 宍粟市教育研修所ではライフステージ別研修を9講座開催した。今後はそれぞれの講座の編成方法についても工夫していく必要がある。 (3) こどもと向き合う体制づくり ノー部活デーについては着実に実施されてきており、部活動運営の適正化が進んでいる。また、ノー会議デー・ノー残業デーについても週1日以上の実施となるよう各小中学校において認定されている。しかし、実情としては実効あるものとはなっていないという指摘もある。このことを改善するためには、以下の取組を進めていく必要がある。 ・「学校ルールブック」の活用促進 ・校務支援ソフトの有効活用 ・外部人材、組織等の活用 ・職員会議の回数削減・ペーパーレス化の推進 ・教職員の意識改革	B+	○教員マイスター制度はとても良い制度であると思う。 ○生徒指導についても教員マイスター制度を導入し、様々な経験のある教師から若手教師への指導をしてほしい。	B+

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 4 地域総がかりの学校づくり

実践目標 (1) 家庭・地域と連携した教育活動の充実
(2) 特色ある学校づくりの推進と支援体制の構築

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①オープンスクールやホームページなどで学校の様子を積極的に公開します。</p> <p>(1)-②地域人材をゲストティーチャーとして招くなど、地域の方々と連携しながらさらに充実した学習活動を推進します。</p> <p>(2)-①各学校が自主的・主体的に事業を計画し、特色ある学校づくりを推進します。 ・「しそ学校生き生きプロジェクト事業」</p>	<p>(1)-① オープンスクールの実施とホームページの充実 ◆オープンスクール実施率 ◇100% ◆CMSシステム導入率 ◇H27 59.1%（13校/22校） ・H28中に100%となる予定 （CMSシステム＝コンテンツ・マネージメント・システムとは…専門的な知識がなくても、テキストや、画像等の「コンテンツ」を用意できれば、ホームページの作成が簡単にでき、インターネットでの情報発信が容易にできるようになるシステム）</p> <p>(1)-② 地域と連携した学習活動の実施 ◆小学校におけるゲストティーチャー招聘率 ◇100%</p> <p>(2)-① 「しそ学校生き生きプロジェクト事業」の実施と充実</p> <p>※しそ学校生き生きプロジェクト事業実施</p> <p>① 学力・体力向上プラン ② 幼保・小・中一貫教育推進プラン ③ 地域人材活用プラン ④ 体験活動プラン ⑤ 特色ある学校づくりプラン</p>	<p>(1) 家庭・地域と連携した教育活動の充実 全国学力・学習状況生活習慣等調査結果より「家の人（兄弟姉妹を除く）が、授業参観や運動会などの学校の行事に来る」割合は全国平均値を大きく上回っており、地域の学校に対する関心が非常に高く、地域の教育力も高い水準で維持されていることがうかがえる。 また、CMSシステムを活用し、各小中学校における迅速なホームページ更新を推進することで、学校情報の積極的な公開を進める。</p> <p>(2) 特色ある学校づくりの推進と支援体制の構築 「しそ学校生き生きプロジェクト事業」 目的：各校の課題や運営ビジョンを基に予算を配当し、自主的・主体的に取り組む特色ある教育活動を支援することで「しその子ども生き生きプラン」に掲げる「ふるさと宍粟を愛する」次代を担う市民の育成をめざす。 課題：平成28年度末で実施後3年が経過し、補助金要綱に定められている事業実施期間が終了する。そのため平成28年度中に成果と課題を明確にし、当事業を検証する作業が必要である。</p>	<p>A</p>	<p>○平成27年度はCMSシステムの導入率が59.1%である。全校導入し、更に情報公開を進めてほしい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 5 健やかな心と体を備えた人づくり

- 実践目標 (1) 食育の推進
 (2) 体力・運動能力の向上
 (3) 豊かなこころの育成
 (4) 生徒指導支援体制の確立

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①学校給食センターが中心となり、地域農家と学校の連携を進め、「地産地消」の理念を大切に食育を推進します。</p> <p>(2)-①子どもたちの体力・運動能力をきめ細かに把握し、その向上に取り組めます。 ・「しーたんチャレンジ」</p> <p>(3)-①教育活動全体を通じて道徳教育・人権教育の研究・実践活動を充実させ、共生社会の実現に主体的に取り組む子どもを育てます。</p> <p>(3)-②中学生が園児等とふれあい、思いやりに満ちた人間関係を構築する取組を進めます。 ・「出会いふれあいこども教室」</p> <p>(4)-①保護者などから教育相談に対応するため、学校と青少年育成センター、適応教室の連携充実を図ります。</p> <p>(4)-②「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・解決に向けた取組を行います。</p>	<p>(1)-① 地産地消による食育 ◆地産地消率 ◇65.4%</p> <p>(2)-① 「しーたんチャレンジ」事業の状況 ◆「しーたんチャレンジ」実施率 ◇100% ・H27からは幼稚園・公立保育所・こども園でも実施</p> <p>(3)-① 道徳教育・人権教育の充実 ◆年間指導計画に則った道徳教育・人権教育の実施率 ◇100%</p> <p>(3)-② 出会いふれあいこども教室 ◆「出会いふれあいこども教室」実施率 ◇H27 100%（7中学校/7中学校） H23 37.5%（3中学校/8中学校）</p> <p>(4)-① 学校と青少年育成センター・適応教室の連携 ◆「しろう学校サポートチーム」活動状況 ◇巡回相談訪問 24回 （中学校：9回、小学校：15回） ケース検討会 5ケース 広域会議 5回</p> <p>(4)-② 「いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめの未然防止・早期発見・解決に向けた取組 ◆緊急対応として会議をもった学校の割合 ◇H27 50.0%（小学校8校/15校、中学校3校/7校） ◆いじめ認知のためにアンケートを年間3回以上実施した学校の割合 ◇100%</p>	<p>(1) 地元産食材を積極的に活用して地産地消の推進に取り組み、旬の食材を学校における食育の生きた教材として給食の提供を行うことができた。今後更に給食用食材の生産者拡大とともに数量の確保をめざす。</p> <p>(2) 体力・運動能力の向上 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より、総合評価AまたはBとなった児童生徒の割合は小学校5年生男子で全国値より5.5%、中学校2年生男子では0.9%少なくなっている。 一方で小学校5年生女子では7.7%、中学校2年生女子では1.9%多くなっている。 種目ごとで分析すると、殆どの種目で全国平均値を上回っているものの、柔軟性には引き続き課題があった。今後も「しーたんチャレンジ」事業を継続していくことで改善を図る予定である。</p> <p>(3) 豊かなこころの育成 (4) 生徒指導支援体制の確立 平成24年度に発覚した、大津市中2いじめ自殺事件が誘因となって、平成25年度にいじめ防止対策推進法が施行された。当市においてもいじめ防止対策推進条例、いじめ防止対策基本方針に則り、いじめの積極的認知と組織的な対応による早期対策、早期解決に努めている。 いじめ事案については、いじめ防止対策推進法の規定に基づいて、的確な認知に努めるよう、各小中学校に通知している。 いじめ問題への対応については「いじめの度合い」に応じて迅速かつ丁寧な対応が必要となってくると考えられる。今後はすべての教職員で共有できるように取り組んでいかなくてはならない。</p> <p>【参考事項：いじめの定義】 当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。（いじめ防止対策推進法第2条第1項）</p>	<p>B+</p>	<p>○「しーたんチャレンジ」は、各学校園で、課題を明確にして取り組まれているのでよいことである。</p> <p>○教師は傍観者とならず、常にいじめに対する意識を持って取り組んでもらいたい。</p> <p>○いじめについては、いじめる側の児童生徒への指導とともにその児童生徒の育った環境なども含めて考え、支援することも大事である。いじめに気付いた教師は子どもに寄り添う姿勢が必要である。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 6 安全・安心の学校づくり

- 実践目標 (1) 危機管理体制・マニュアルの整備
 (2) 地域の特性を踏まえた防災・防犯教育の推進
 (3) “地域で守る”学校安全体制の確立

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①宍粟市学校危機管理マニュアルを整備し、安全・安心な学校づくりを支援します。 ・「食物アレルギー疾患対応マニュアル」</p> <p>(2)-①地震や土砂災害など予想される天災を想定した、きめ細やかな防災訓練を実施します。</p> <p>(2)-②通学路安全マップの定期的な点検を行うなど、地域と連携を図りながら、子どもたちの安全を守ります。</p> <p>(3)-①学校安全ボランティアや見守り隊と連携して安全な登下校体制を築きます。</p> <p>(3)-②緊急メールシステム・しーたん通信などの情報機器を利用した緊急時連絡網を整備し、活用を図ります。</p>	<p>(1)-① 宍粟市学校危機管理マニュアルの整備 ※整備状況 ・宍粟市地域防災計画（H24改定） ・宍粟市避難所運営マニュアル（H27策定） ・食物アレルギー疾患対応マニュアル（H26策定） ・いじめ早期発見・対応マニュアル（H24策定）</p> <p>(2)-① きめ細やかな防災訓練の実施 ◆きめ細やかな防災訓練の実施率 ◇100%</p> <p>(2)-② 通学路要対策 ◆通学路要対策箇所 ◇H27 未対策箇所 24箇所</p> <p>(3)-① 学校安全ボランティアや見守り隊との連携 ◆小学校における学校安全ボランティア組織率 ◇100%</p> <p>(3)-② 緊急メールシステムの刷新 ◆スマートフォンなどに対応した新しい緊急メールシステムの導入率 ◇100%</p>	<p>(1)危機管理体制・マニュアルの整備 ・宍粟市地域防災計画（H24改定） ・宍粟市避難所運営マニュアル（H27策定） ・食物アレルギー疾患対応マニュアル（H26策定） ・いじめ早期発見・対応マニュアル（H24策定） 「宍粟市学校危機管理マニュアル」の整備が、ここ数年来の課題であったが、上記の4つのマニュアル整備により、学校における危機管理マニュアルが整備できた。今後は、これらマニュアルに基づき、適切な対応が為されるよう周知・徹底を図るとともに、最新の情報を反映させ、逐次、改訂作業を実施していく必要がある。</p> <p>(2)-①地域の特性を踏まえた防災・防犯教育の推進 防災訓練については各学校園所において年間1回以上実施しているが、地震や火災にかかる内容が多くなっている。水害や土砂災害に対応した訓練についても工夫していく必要がある。</p> <p>(2)-②通学路安全対策 各学校から調査した安全対策必要箇所について、毎年、通学路交通安全推進協議会にて点検し、関係機関の連携により安全対策に努めている。場所によっては法的、財政的課題などもあり、対策可能な場所からできるだけ早急に対応を進める。</p> <p>(3)“地域で守る”学校安全体制の確立 小学校における学校安全ボランティアの組織率は100%となっているが、高齢化が進みつつあり、新規のボランティアを開拓する必要がある。</p>	<p>A</p>	<p>○見守り隊などの学校安全ボランティアの確保も課題である。</p> <p>○通学路の安全は、対応できない個所もあり、100%安全ともいえないが、見守り隊などの協力で安全が図られていることも多い。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《学校教育》 育もう夢と希望 拓こうまちの未来 創り上げよう宍粟の教育

基本目標 7 家庭での子育てを支援する体制づくり

実践目標 (1) 保護者の悩みに対する相談体制の整備

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる

「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①教育委員会の担当者（児童生徒支援スーパーバイザー）による相談・面談活動を充実します。</p> <p>(1)-②各学校において、保護者の皆さまの子育てを応援する講演会を実施します。</p>	<p>(1)-① 児童生徒支援スーパーバイザーの活動 ◆特別支援教育スーパービジョン実施回数 （特別な支援が必要な幼児児童生徒への支援に関して教職員と行ったケース相談） ◇H27 109回 H26 173回 ◆就学相談実施回数 ◇H27 50回 H26 65回 ◆しろうカウンセリングルームでの面接回数 ◇H27 159回 H26 56回 ◆研修会における講師回数 ◇H27 50回 H26 42回</p> <p>(1)-② 子育て講演会の実施 ◆各小中学校における子育て講演会実施率 ◇100%</p>	<p>(1) 保護者の悩みに対する相談体制の整備 学校生活（授業や部活動など）における人間関係のトラブルに関する相談・支援体制の充実を図るため、さまざまな専門性を有するメンバーで「しろう学校サポートチーム」を組織して、児童生徒や保護者、教職員への多面的な支援を行っている。 その結果、学校からはトラブルの初期段階からの相談も増え、早期解決につながるケースも増加してきている。</p> <p>しろう学校サポートチームメンバー： ・宍粟市青少年育成センター（学校OB、警察OB） ・適応教室さつき学級適応教室指導員（学校OB、非常勤職員） ・学校教育課（児童生徒支援スーパーバイザー） ・スクールソーシャルワーカー</p> <p>宍粟学校サポートチーム活動内容： ・いじめ、不登校等問題行動に関する相談と支援 ・学級経営や部活動に関する相談と支援 ・児童生徒理解に係る支援（研修会等の実施） ・児童虐待への対応 ・学校園所巡回相談</p> <p>特別支援教育スーパービジョンや就学相談の回数が減少してきたのは、学校園所の対応力が向上してきたためと考えられ、成果があった部分である。一方、面接回数やスーパーバイザーの講演回数が大幅に増加しているのは児童生徒支援スーパーバイザーの活動が広く学校現場および市民に認知されてきたことに加え、さらにレベルの高い課題や悩みが出てきており、その解決のためにスーパーバイザーが有効に活用されているためであると思われる。</p>	<p>A</p>	<p>○発達障害などできるだけ早期に把握し、支援することが大事である。支援を要する児童の情報を共有することで、教員が意識した支援や連携した支援を行うことができる。</p> <p>○不登校については、その対象数の問題でなく、個々の対象児童生徒をどうサポートするかということが大事である。要因や対象児がどう生きていくかをしっかり分析し対応することが大事。</p> <p>○不登校については、学校だけでなく、社会的背景や地域の課題として考えていくべき。</p> <p>○児童生徒支援スーパーバイザー配置は、大事な取り組みであり、評価する。</p>	<p>A</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《社会教育》 つなぐ心 つなぐ地域 つなぐ知恵 共に学び 共に支えあう 宍粟の生涯学習

基本目標 1 生きがいをもって学べる生涯学習の推進

- 実践目標 (1) みんなが参加できる生涯学習の推進
 (2) 学んだことが地域で活かせる事業の推進
 (3) 学んだことがみんなに広がる取組の推進
 (4) みんなが利用しやすい生涯学習施設の整備と充実

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

実践目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①年齢や学習の目的に応じた“学び”のきっかけづくりとして、高齢者大学、成人大学、青い鳥・くすの木学級などを開設し、その内容の充実に努めます。</p> <p>(1)-②宍粟市民大学（生涯学習パスポート事業）のメニューを充実させ、生涯にわたる“学び”を応援します。</p> <p>(2)-①生涯学習センターの登録団体制度の活用など、“学び”を続けるグループの活動を応援し、地域づくりのリーダーとなる人材を育成します。</p> <p>(3)-①市民が生涯学習に参加し、そこで学習した成果を発表する機会を提供するため、文化展などを市内各地で積極的に開催します。</p> <p>(3)-②波賀歴史伝承の家や家原遺跡公園の体験工房などで、高齢者と子どもたちが交流できる事業を実施し、地域文化の伝承に努めます。</p> <p>(4)-①市民が生涯学習施設を安心して利用できるよう、施設の改修や安全管理に努めます。</p>	<p>(1)-① ◆高齢者大学学生数 ◇1,140人 ◆青い鳥・くすの木学級学級生参加人数 ◇延べ100人</p> <p>(1)-② ◆市民大学生（しそく学びパスポート所持者）数 ◇191人 ◆市民大学講座数 ◇37講座</p> <p>(2)-① ◆生涯学習センター登録団体数 ◇70団体</p> <p>(3)-① ◆文化展入場者数 ◇5,133人</p> <p>(3)-② ◆波賀歴史伝承の家見学者数 ◇357人</p> <p>(4)-① ※必要箇所の施設修繕を実施</p>	<p>○高齢者大学については、運営委員会などを組織し企画・運営を学生と行政が協働し進めてきた。また、高齢者の生きがいや地域社会への積極的な参加を促すために、市内の4高齢者大学において、一般教養・健康・人権・歴史・文化等のさまざまなテーマで講座を開催し、自己の教養や学生相互の交流を深める機会を提供した。例年、各大学とも受講生が減少する傾向にあり、学習ニーズや内容の検討、各大学間の交流等が課題である。</p> <p>○市民が自己の関心や目的に応じた自主的な学習活動に取り組む機会を提供するため、「しそく学びパスポート」を発行し、宍粟市民大学を開催した。平成27年度には、学士以上の受講生の意見交換会の場を設け、今後の活動についてさまざまな意見をいただくことができた。</p> <p>○各生涯学習センターでは、登録団体により自主的に生涯学習活動に取り組む団体の支援を行っている。団体によっては、会員の高齢化や会員の減少による活動の停滞があり、特に成人世代の会員減少が課題となっている。</p> <p>○施設修繕が必要な場合には、今後も早急に対応し利用者が快適安全に使用できるよう努める。</p>	<p>B+</p>	<p>○年金支給年齢の引き上げなどにより、働く高齢者も増えており、参加者を増やすことが課題となっている中、様々な工夫により取り組みを進められていることを評価する。</p> <p>○高齢者大学は学生ニーズを捉えられ、内容も工夫されている。学生も主体的に動かれている。</p> <p>○参加者を増やすためには、同世代が集い交流することができる良さなどPRの工夫が必要である。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《社会教育》 つなぐ心 つなぐ地域 つなぐ知恵 共に学び 共に支えあう 宍粟の生涯学習

基本目標 2 人権を尊重するまちづくり、子どもや青少年が健やかに育つ地域づくり

- 実践目標 (1) 地域や学校園所・関係機関と連携した人権教育の推進
 (2) 人権を尊重した地域づくりの推進
 (3) 人権教育の推進と啓発活動の充実
 (4) 地域で子どもを育む体験活動の充実
 (5) 家族や親子で体験できる活動の充実
 (6) 青少年健全育成リーダーの発掘と資質向上研修の推進
 (7) 家庭や地域・学校園所と連携した青少年の学習支援

※評価指標
 「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①生涯学習推進協議会と連携し、自治会ごとの人権啓発・人権学習などを推進します。</p> <p>(1)-②自治会が実施した人権学習の活動を発表する場を設けるなど、地域住民の交流を大切にしたい人権学習を進めます。</p> <p>(2)-①人権啓発ビデオを活用するなど、市民が参加しやすい研修会や講演会などを開催し、人権意識の高いまちづくりを推進します。</p> <p>(3)-①年間を通して行う人権啓発活動に加えて、「差別をなくそう市民運動推進月間」（8月）と、「人権週間」（12月）には講演会を開催するなど、啓発活動を充実させます。</p> <p>(4)-①地域サポーターと子どもたちが、共に地域の自然や歴史を学ぶ青少年体験活動を実施します。</p> <p>(5)-①生涯学習センターなどで、家族や親子で子どもたちが参加できる体験活動講座を開催するとともに、その内容の充実を図ります。</p> <p>(6)-①学遊館などで実施する宿泊型体験活動では学生や地域サポーターの参加を募り、リーダーの育成に努めます。また、リーダー養成研修会を開催し、企画力や指導力の向上を図ります。</p> <p>(6)-②地域の子ども会役員を対象に安全指導研修を開催し、自主的な地域教育を支援します。</p> <p>(7)-①放課後子ども教室などを開催し、異年齢の子どもの交流や居場所づくりを進めます。また、地域ボランティアが主体となって教室を運営することで地域の活性化を促します。</p>	<p>(1)-①・②、(2)-① ◆生涯学習推進協議会の研修会等活動回数 ◇197回</p> <p>(3)-① ◆市民運動推進月間（週間）事業・人権のタペなどの参加者数 ◇665人</p> <p>(4)-①、(5)-①、(6)-① ◆青少年体験活動参加者数 ◇173人 ◆学生・リーダー等参加者数 ◇44人</p> <p>(6)-② ◆安全指導者研修会等実施数 ◇5回</p> <p>(7)-① ◆放課後子ども教室・土曜チャレンジ学習事業教室数 ◇11教室 ◆放課後子ども教室・土曜チャレンジ学習事業参加者数 ◇13,968人</p>	<p>○一人ひとりの人権が尊重される社会の実現をめざして、各地区の生涯学習推進協議会や自治会において、人権教育をテーマとした研修会や学習会を実施し、参加型学習や意見交換を通じて学習を深めている。また、地区生推協では年度末に一年間の活動実践発表会が開催され、取組の振り返りと情報交換、交流の機会となっている。</p> <p>○人権学習会の参加者の固定化が見られることから、若年層を含めて誰もが参加しやすい学習会の進め方やテーマの選定が必要である。</p> <p>○「差別のない明るい住みよい宍粟市」の実現のため、人権のタペ講演会や「西播磨人権のつどい」を開催し、人権意識高揚啓発ができた。各市民局単位においても、人権尊重をテーマとした講演会・映画会などを開催し、より多くの市民への啓発に努めている。</p> <p>○平成27年度より、宍粟市青少年問題協議会に一本化し、青少年の保護・健全育成等に関する情報交換等の会議を開催し、関係機関との連携を深めることができた。</p> <p>○生涯学習センター学遊館において、宿泊型体験活動を実施し、青少年が学校や学年の枠を超えて生活をととにし、規律ある生活習慣を身につけるとともに、学生リーダー等との交流を深める機会を提供することができた。小学生時代に活動に参加した学生等が、指導リーダーとして参加するケースも出てきたようである。しかしながら、少子化による参加者の減少や、地域における指導員の確保が難しくなっている。</p> <p>○放課後や土日、長期休暇を活用し、地域のボランティアの指導・協力による学習やスポーツ、読み聞かせ、体験活動などの教室を市内11教室で実施し、子どもと地域住民の交流により地域の活力を創出することに寄与できた。</p>	<p>B+</p>	<p>○事業推進の部署が分かれているが、引き続き連携し、進めてもらいたい。</p> <p>○生涯学習推進協議会の発表を各自治会が参考にする方向性は定着してきた。</p> <p>○参加者の固定化が課題である。多くの方が啓発ビデオなどを一度でも見る機会ができるよう工夫してほしい。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《社会教育》 つなぐ心 つなぐ地域 つなぐ知恵 共に学び 共に支えあう 宍粟の生涯学習

基本目標 3 読むこと・知ること・学ぶことを大切にしたい芸術・文化活動の推進

- 実践目標
- (1) 計画的な蔵書管理の推進
 - (2) 図書館施設や機能の充実
 - (3) 読書活動の推進
 - (4) 地域の歴史・文化に関する学習や展示、講座の充実
 - (5) 歴史・文化遺産の体系的な保存整理と調査研究の推進
 - (6) 芸術・文化活動の振興

※評価指標

「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①図書館利用者の願いに応えられるよう、蔵書の充実や資料の収集に努めます。</p> <p>(2)-①蔵書検索システムの利用を促したり、図書館だよりで新刊を紹介したりして、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>(2)-②図書館から遠い地域住民の利用に応えるため、ささゆり号（移動図書館車）の運行を充実させます。</p> <p>(3)-①読み聞かせや蔵書整理などの研修会を開催し、読書ボランティアの育成に努めます。</p> <p>(3)-②ブックスタート事業により、幼児とその保護者を対象に、図書館司書が本との出会いを応援します。</p> <p>(4)-①市民が宍粟の歴史・文化にふれる機会として新宍粟学講座などを開催します。</p> <p>(5)-①宍粟の歴史・文化資料の研究と整理を進め、歴史資料の保存に努めます。</p> <p>(5)-②文化財所有者や伝統民俗芸能保存団体の活動に助成を行うなど、文化遺産の保存や保護、継承を支援します。</p> <p>(6)-①市民が芸術や文化に親しんだり、取り組んだりするきっかけとなるよう、宍粟市美術展や文化展などを開催します。</p> <p>(6)-②安全で快適に芸術や文化活動が行えるよう施設の維持管理に努めます。</p> <p>(6)-③芸術文化奨励金を交付し、芸術文化の振興と人材育成を図ります。</p>	<p>(1)-① ◆市立図書館の蔵書冊数（各生涯学習事務所図書室含む）◇148,192冊</p> <p>(2)-① ◆図書館会員数 ◇10,959人（前年9,792人）</p> <p>(2)-② ◆移動図書館車の運行 ◇67日</p> <p>(3)-① ※読書ボランティアからの要望により読み聞かせ等の指導を実施</p> <p>(3)-② ◆ブックスタート事業の実施 ◇24回</p> <p>(4)-① ◆宍粟学講座の開催 ◇5回（受講323名）</p> <p>(5)-① ◆歴史解説パンフレット発行 ◇1万部</p> <p>(5)-② ◆伝統民俗芸能保存団体 ◇23団体 ◆文化財等指定件数 ◇113件</p> <p>(6)-① ◆宍粟市美術作品展の入場者数 ◇1,863名</p> <p>(6)-② ◆文化会館入館者数 ◇98,582人（前年104,824人）</p> <p>(6)-③ ◆芸術文化奨励金交付件数 ◇5件</p>	<p>○平成27年度には、指定寄附金を活用して、前年度より7,561冊増加し、蔵書数は148,192冊と図書の実充をさせることができた。</p> <p>○移動図書館車の巡回地域を拡大し、図書館を利用しにくい地域の方にも読書に親しんでいただくように努めた。山崎の宍粟市立図書館では、朝の開館時間の30分延長、週1回金曜日に閉館時間を1時間延長するなど利用者へのサービス拡大を行った。</p> <p>○平成27年9月には認定こども園に隣接し「ちくさ図書館」がオープンし、誰もが集える図書館として親子連れを中心に多くの利用がある。</p> <p>○播磨国風土記や江戸時代の山崎藩などに因むテーマを中心に、宍粟学講座を5回開催し、より多くの市民が宍粟市の文化財や歴史に触れる機会を提供することができた。また、10月には宍粟立藩400年に関するミニ企画展を市役所ロビーで開催し、歴史に関心のない一般市民への歴史を知る機会を持つことができた。更に歴史文化への関心の深まりや学習意欲につながるよう取り組む必要がある。</p> <p>○市内各所に分散する歴史資料の集約や伝統民俗芸能保存団体の後継者育成が課題である。</p> <p>○市内の各地区において、美術作品展などを開催し、創作意欲の向上と市民が身近に芸術作品に触れる機会を提供できた。</p> <p>○芸術文化奨励金制度により、全国レベルの展覧会等の入賞者への奨励金の交付を行っている。今後、PR方法等を検討し交付実績の増加を図るとともに、芸術家の創作意欲向上や育成へとつながるような取組を進める必要がある。</p> <p>○山崎文化会館の入館者は、プログラムによって差が生じるため、定期的なイベントや公演の工夫が必要である。また、文化会館は老朽化が進んでいるため、年次計画的に施設の改修を実施しており、平成27年度は引込受変電設備の改修工事を行ったが、今後更に利用しやすい施設となるよう改修が必要である。</p>	<p>B+</p>	<p>○読書ボランティアについては、図書館がボランティアをコーディネートし、学校園と連携をしてはどうか。</p> <p>○市内各所の歴史資料等をまとめて管理展示するような施設がほしい。</p> <p>○ちくさ図書館が新しくでき、入館者や貸出も増えてきている。</p>	<p>B+</p>

平成28年度（27年度事業対象） 宍粟市教育委員会事務事業評価シート

《社会教育》 つなぐ心 つなぐ地域 つなぐ知恵 共に学び 共に支えあう 宍粟の生涯学習

基本目標 4 「元気な宍粟」の実現をめざした生涯スポーツの推進

- 実践目標 (1) 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の支援
 (2) 競技スポーツの強化と振興の支援
 (3) 地域資源を生かしたスポーツ環境の充実
 (4) 安全に活動できるスポーツ施設の整備

※評価指標
 「A」：満足できる 「B+」：概ね満足できる
 「B-」：あまり満足できない 「C」：満足できない

基本目標に対する推進方針	◆成果指標（意図や達成度を示す指標） ◇実績値 ※数値では表し難い成果や実施状況	取組の成果及び今後の課題	自己評価	委員の意見・感想	委員評価
<p>(1)-①中学生以下の子どもや65歳以上の高齢者、障がいのある人を対象に、スポーツ施設使用料の免除を行います。 (1)-②関係機関の指導や協力を得て、市民の健康づくりや体力増進のための運動指導を行います。</p> <p>(2)-①幼少期から競技スポーツを身近に感じる機会を増やすため、高校野球やカヌー競技の誘致に努めます。 (2)-②スポーツ奨励金を交付し、選手の育成を支援します。また、各競技で活躍する選手に技術指導や講演会等を依頼し、後進の育成・強化を図ります。</p> <p>(3)-①宍粟固有の地域資源である宍粟50名山やスキー場、カヌー場等を活用したスポーツの振興を図ります。</p> <p>(4)-①各スポーツ施設の計画的な改修を行います。また、それぞれの施設の利用計画の調整や利用環境の改善に努めます。</p>	<p>(1)-① ◆高齢者の利用 ◇2割増（前年比）</p> <p>(1)-② ◆宍粟市スポーツ推進委員研修会におけるノルディックウォーキング講習参加者数 ◇22人 ◆福祉部局との連携によるウォーキングリーダー研修会参加者数 ◇延べ178人</p> <p>(2)-① ◆県大会以上誘致数 ◇3件 ・高校野球秋季大会予選（メイプルスタジアム） ・国体近畿予選・県高校総体（カヌー競技場）</p> <p>(2)-② ◆スポーツ奨励金交付数 ◇1団体、33人</p> <p>(3)-① ◆カヌー教室参加者数 ◇79人 ◆スキー教室参加者数 ※雪不足により中止</p> <p>(4)-① ◆施設改修箇所数 ◇2箇所 ・スポニックパーク一宮受水槽改修 ・波賀スポーツ公園の駐車場整備</p> <p>H27 スポーツ施設利用者数 145,361人</p>	<p>○スポーツ施設使用料減免（中学生以下、65歳以上の高齢者、障がい者の使用料減免）の導入により、着実に高齢者の利用が増えている。年齢やライフスタイルに応じたスポーツを楽しむ生涯スポーツの機会を提供することによる利用者の増加も要因とあげられる。</p> <p>○宍粟市スポーツ推進委員会において、高齢者支援としての体操教室の研修や、広域的な研修会に参加し、知識と技術の取得に努めることができた。</p> <p>○既存イベントである宍粟市さつきマラソン大会・ロードレース大会などを通じ、地域づくりや参加者の健康づくり、都市部との交流などに寄与することができた。今後更にこれらの活動を通じ、地域スポーツの指導や普及を支えるスポーツ推進委員の人材育成に今後も取り組む必要がある。</p> <p>○全国大会規模以上の大会に出場する団体や個人選手に奨励金を交付し、市内のスポーツ選手の競技意欲の向上や育成を支援することができた。また、市広報などを活用し制度を周知した。</p> <p>○音水湖を利用したカヌークラブによるカヌー体験教室や、自然、文化コースを取り入れたウォーキング大会などを実施し、宍粟市の地域資源を活用したスポーツ活動を行うことができた。</p> <p>○健康ウォーキング、ランニングコースを市内4ヶ所に設置し、健康づくりへの啓発ができた。</p> <p>○ラジオ体操を推奨し、市民がスポーツに親しむ機会を増やし、健康づくりへの啓発ができた。</p>	<p>B+</p>	<p>○施設整備も行われているが、スポーツ施設に熱中症対策として冷水器の設置をしてほしい。</p> <p>○プール利用も男性より女性が多い。健康づくりの面からも啓発をお願いする。</p> <p>○スポーツは健康づくりの面もあり、健康福祉部との連携や、森林セラピーなど観光面で進められている事業なども含め、市として総合的に考え、連携し、効果的に進めてもらいたい。</p> <p>○千種B&G海洋センターは水泳というスポーツ面だけでなく、地域の居場所としてのPRなど、また、図書館と合わせたPRなども検討してはどうか。</p>	<p>B+</p>